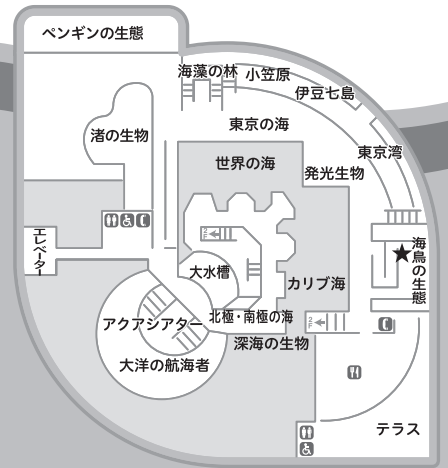


海鳥ウオッチング

ペンギンに似ているけれどペンギンではありません。
ウミガラス、エトピリカはどんな鳥？
水そうにいる海鳥を観察して絵をかくか答えを選んでください。



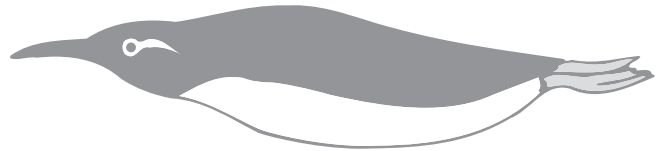
1 問題

下の絵に間違いが1つあります。どこだと思いますか？



2 問題

水中を泳いでいるときの「つばさ」はどんな形ですか？ 水そうの中を泳いでいるウミガラスの「つばさ」を見て、下の絵にかいてみましょう。



3 問題

エトピリカはどんな「足」をしているのでしょうか？ エトピリカの「足」を見て下の絵にかいてみましょう。



4 問題

海鳥たちは羽のお手入れを毎日しています。見ることができた行動に○をつけてみましょう。



くちばしで羽づくろい

水あび

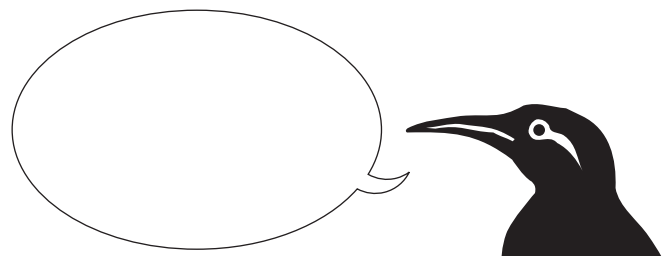
5 問題

卵を産む時期になると日本にやってくる海鳥。しかし、その数はとても少なくなっています。なぜでしょう？ 下から選んでみましょう。いくつ選んでもいいです。



6 問題

水そうの前で、耳をすませてみるとウミガラスの鳴き声が聞こえます。どんな鳴き声でしょうか？ 聞こえてきた鳴き声をふきだしに書いてみましょう。



海鳥ウツチング

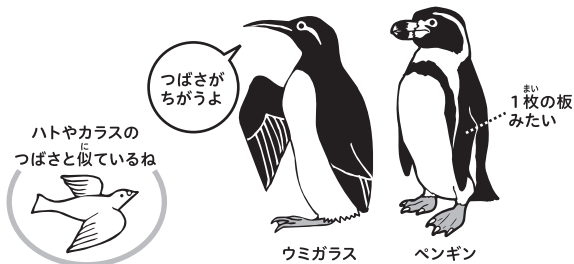
メモ

海鳥は、ペンギンみたいに水中をすばやく泳ぐこともでき、ハトやカラスのように空を飛ぶこともできます。そのひみつはからだのつくりにあります。

葛西臨海水族園

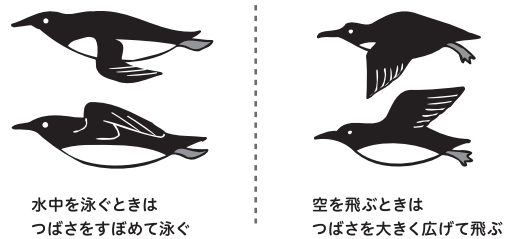
① 答え

1枚の板のようなペンギンの「つばさ」は、水中を泳ぐのに便利な「つばさ」です。海鳥の「つばさ」はハトやカラスの「つばさ」に似ています。この「つばさ」で、空も飛べ、水中を泳ぐことも出来ます。



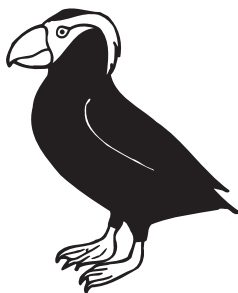
② 答え

海鳥は「つばさ」をつかって空を飛び、水中も泳ぎます。空を飛ぶときには「つばさ」を大きく広げ、水中では小さくすぼめます。空気より重い水をかくときは、「つばさ」をすぼめたほうが、うまく水をかくことができるからです。



③ 答え

海鳥の「足」には、水をうまくかくことができるように水かきがあります。水面を移動するときに、この「足」を前後に動かせば水をしっかりかくことができます。



④ 答え

羽がボサボサだったり、よごれていたりすると飛ぶことも泳ぐことも難しいです。だから、「くちばし」をつかったり、水をあびたりして羽のお手入れを毎日しています。

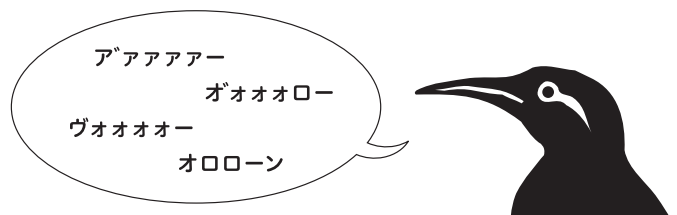


⑤ 答え

答えは全部。日本にやってくる海鳥が少なくなっている理由は、いろいろあります。たとえば「人が持ち込んだ生き物」です。海鳥は敵が少ない安全な島で卵を産みます。この島に人が生き物を持ち込むと卵やヒナが食べられてしまいます。海鳥が少なくなっている理由の多くは、人間の生活が関係しています。

⑥ 答え

耳をすますと高い鳴き声が聞こえます。ウミガラスの鳴き声です。卵を産む時期になると、一ヶ所に集まり鳴き交わす様子も見られます。お互いの鳴き声で卵を産むタイミングを合わせていると考えられています。



鳴き声がオロローンと聞こえることから「オロロン鳥」とも呼ばれています